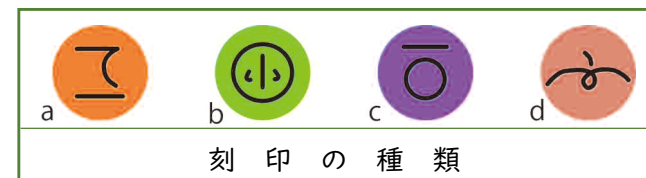


芦屋の残念石見学会 in 岩ヶ平刻印群 見学場所の概要



1. 六麓荘浄水場

六麓荘浄水場では、平成14年(2002)に実施した発掘調査で、採石場跡が見つかりました。aの刻印石から、唐津藩寺澤家の採石場と推定しています。

浄水場前には、発掘調査で出土した割石4石を移設展示しています。

このほか、六麓荘住宅^{*1)}地開発時の街路灯と量水器蓋・消火栓蓋も移設展示しています。

2. 紅葉橋

六麓荘町を自然に流れる「どんどん川」等の小川には、11ヶ所にそれぞれデザインの違いがある石橋が架けられています。

岩ヶ平刻印群で採石された石材の一部は、どんどん川が流れる谷地形を利用して石材を夙川ルートで西宮の浜まで運んだと推測されています。

紅葉橋では、川の水を利用した滝の傍まで降りることができます。

3. 芦屋大学の石垣

六麓荘町の住宅の石垣には、刻印石や矢穴石等が使われていることがあります。芦屋大学では、近くの発掘調査で出土した、小浜藩京極家と推定されるbの刻印石が移設展示されています。

4. 六麓荘緑地

平成16年(2004)に実施した、この周辺の大規模な発掘調査で出土した刻印石4石と割石1石を移設展示しています。cの刻印石から、防長萩藩(長州藩)毛利家の採石場と推定しています。

5. 岩園天神社

境内には八十塚古墳群^{*2)}岩ヶ平支群の、第13号墳と第14号墳が現存しています。このうち、境内南部の第14号墳の上には安政5年(1858)に建てられた役小角の石像があります。この石像は、割石を転用して造られており、裏面には矢穴痕が確認できます。

6. 岩園第二児童遊園

平成16年(2004)に実施した、この周辺の大規模な発掘調査で出土した刻印石2石と矢穴石2石、割石6石を移設展示しています。dの刻印石が見つかりますが、どのような意味を持つ刻印なのかわかっていません。

7. 岩園町の石祠

石仏の祠の屋根として、小浜藩京極家と推定されるbの刻印石が転用されています。

*1)現在の六麓荘町のもとなる六麓荘住宅地は、「東洋一の健康地」をキーワードに、昭和4~6年(1929~1931)にかけて造成されました。住宅地全体で一つの日本庭園になるよう設計されており、どんどん川などの小川を敷地から敷地へ引き込んでいます。

*2)芦屋市六麓荘町・岩園町周辺から西宮市苦楽園周辺にかけて分布する、古墳時代後期~飛鳥時代(6世紀後半~7世紀半ば)の群集墳です。



徳川大坂城東六甲採石場の概要については、こちらをご覧ください⇒